



# APEX CLUB

'99/11

アペックス産業株式会社

第9号

『APEX CLUB』  
発行 1999年11月1日(通算第9号)  
発行所 アペックス産業株式会社「APEX CLUB」編集委員会  
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4  
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558  
発行人 元木 貢(編集委員長)伊藤弘文  
(編集委員)和田芳武 白坂昭子  
毛塚淳子 岩佐賢一  
山口力広  
制作協力 株式会社オービット

## ギャラリー



### 菜の花とウスバシロチョウ

財団法人日本環境衛生センター

橋本 知幸

●プロフィール 一九六六年、栃木県宇都宮市生まれ。静岡大学農学部(応用昆虫学専攻)卒業。(財)日本環境衛生センター・環境生物部勤務。中学生の頃から昆虫採集で全国を訪れ、特に蝶の採集と飼育は高校卒業まで夢中だった。写真も中学の頃から始め、以来、蝶類を撮り集めている。最近は捕虫網をほとんど持たず「探ることよりも撮ること」にこだわっている。

●作者寸言 中学生の頃、友人との蝶を探集に行くのに、自転車で片道二十キロの道のりも苦にならなかつたのを覚えている。住宅街にある自分たちの家の周りでは、なかなかお目にかかるない蝶だが、ネギ畠とか山裾のちょっとした林の縁で、あまりはなたかず、滑るように飛んでいた。ネギ坊主に止まって、重なった後翅の翅脈が透けて見えるその姿を、友人と一人で初めて見た時は、捕虫網を持つ手が震えたものだ。友人はいつも薄暗くなるまで野山を歩き回り、帰り道、雨宿りしながら、三角ケースの中の獲物を眺めたり、採集したときの話をしながら、展翅板から蝶を外す儀式をしたりした。時には些細なことで、一週間も口を利かないこともあったが、今ではみんな懐かしい、少年の日の思い出になっている。



## やま おじ 虫 ガ(蛾)

アメリカシロヒトリ

【プロフィール】蛾は、幼虫・成虫共に人々に様々な被害を与える、嫌われています。被害は、貯蔵食品や衣類の食害、樹木や草花の食害、痒みや痛みなどの三つに大別されます。

【種類】蛾は世界では約十八万種、日本でも約五千種が知られています。一般には、貯蔵食品(米、小麦など)にはノシメマダラメイガなど、衣類にはイガなど、樹木や草花にはアメリカシロヒトリやモンクロシヤチホコなどが発生し、また、チャドクガなどの毒蛾は痒みや痛みを起こすことが知られています。

【駆除】貯蔵食品は、密閉できる

なんとそれはM氏の財布でした。奴らは集団スリの一昧だったのです。M氏が気付いてお巡さんには「スリだ!」と訴えれば、一味は捕まつたはずですが、何も気付かなかつたM氏。でも一味はM氏が気付かぬフリをしてくれたと感謝(?)して、財布を返してくれたと感謝(?)して、財被害のなかつたM氏も、スリの一昧も万歳をしました。

M氏は怒つてしまふ。靴が左右ほぼ同じようにバラバラというのもだつたからです。それと……。滑る時の左右の靴にかける力の均一性も良かつた。どちらではないかと、ひそかに満足していたからです。

ちなみに、残つたゴム製の内靴は、風呂場掃除用の靴として十年は使えそうですね。



(貢)

容器へ入れ、時々発生がないかをチェックすることが大切です。被害がある場合には、被害部分を取り除き

ある場合には、被害部分を取り除き

エックする必要です。害虫については、市販の防虫剤など

で発生を予防することが大切です。

衣類については、市販の防虫剤などで発生した場合には、衣類を煙草・燻蒸すると良いでしょう。

毒蛾を含め樹木などに発生するものについては幼虫の発生しはじめる

五月前後に一度殺虫剤を処理してお

くと良いでしょう。すでに発生があ

る場合には、葉が全くなくなる前に駆除することが大切です。

## むし籠 無条件返還

く。その年初めてのスキーでした。ベテランM氏のスキー靴は十五年愛用の靴でした。この日は、なぜか右足がうまく板に入りません。

それでも何とか押し込んで滑り始めたところ、パラツ・ボロツと右足の靴の外側の樹脂の部分が欠けて行

ぎりぎりまでバックして来て、軽く接触して止りました。はずみで後

歩いていた男が、M氏にドスン!

M氏が運転手に文句を言おうとし

た時、日本で言う白バイが現われ、運転手をドナリ付け、M氏を呼び止

めました。

面倒に巻き込まれるのが嫌で、ケガもなかつたM氏は「大丈夫!」と

言つて歩き始めましたが、なぜか、お巡さんはM氏を犯人を見るよう目でニラニでいます。M氏は逃げ

るような気分で、歩き続けました。

すると、今度は見知らぬ男がM氏の目の前に現われ、M氏の手にサッ

と何かを握らせ、走り去りました。

何だ?と思つて握つた物を見ると、

なんとそれはM氏の財布でした。

奴らは集団スリの一昧だったのです。M氏が気付いてお巡さんには「スリだ!」と訴えれば、一味は捕まつたはずですが、何も気付かなかつたM氏。でも一味はM氏が気付かぬフリをしてくれたと感謝(?)して、財布を返してくれたと感謝(?)して、財被害のなかつたM氏も、スリの一昧も万歳をしました。

M氏は怒つてしまふ。靴が左右ほぼ同じようにバラバラというのもだつたからです。それと……。滑る時の左右の靴にかける力の均一性も良かつた。どちらではないかと、ひそかに満足していたからです。

ちなみに、残つたゴム製の内靴は、風呂場掃除用の靴として十年は使えそうですね。

## 虫めがね

☆七月のプラハでの都市害虫の国際会議に続き、九月には北京でアジア十二カ国のPCO(害虫防除の専門業者)により組織された年次大会に出席し、日本のダニやネズミへの取り組みについて、それぞれ発表する

機会を得ました。

☆プラハも北京も初めてでしたが、取り組みについて、それぞれ発表する

機会を得ました。

町を歩いていて日本と違う光景に出

会いました。まず、プラハでは一方通行の反対側に乗用車が駐車している大型

バイクが戻る気配はありません。

トランクを目撃しました。後には車

が数珠つなぎで、数分経過してもド

ライバーが戻る気配はありません。

日本だったらたちまち警笛の嵐……。

しかし、彼等はじっと待っています。

ヨーロッパ大陸の人種のるっぽの中

で、幾度となく侵略から自國を守つ

てきた忍耐力なのでしょうか。

☆一方、北京では老若男女を問わず、

自分で安全を確認して、どんな広い

道路でも渡つて行きます。自分の身

片側三車線の道路を、車の間を縫つて悠然と横断して行きます。彼等は

自分でも渡つて行きます。自分の身

で、幾度となく侵略から自國を守つたからです。

そのため、連れ立往生している大型

トラックを目撃しました。後には車

が数珠つなぎで、数分経過してもド

ライバーが戻る気配はありません。

日本だったらたちまち警笛の嵐……。

しかし、彼等はじっと待っています。

ヨーロッパ大陸の人種のるっぽの中

で、幾度となく侵略から自國を守つたからです。

そのため、連れ立往生している大型

トラックを目撃しました。後には車

が数珠つなぎで、数分経過してもド

ライバーが戻る気配はありません。